

令和5年1月定例記者会見

令和5年1月6日(金)午前11時～

<主な発言項目>

○ KIRAKIRA ミッション 2022 について

12月1日(木)～25日(日)の25日間開催した。今年は雨の日が多く天候には恵まれなかったほか、23日(金)は大雪警報の発令に伴い、初めて点灯を中止したが、期間中49,000人の方にご来場いただいた。県外からの来場者もコロナ前に戻ってきている。

また、株式会社明治との「街の強さひきだすプロジェクト」として実施した、自転車発電型イルミネーション体験のほか、<砺波チューリップ公園の通年利用を促進するために初めてチューリップ公園をライトアップし、KIRAKIRA ミッションのきっかけとなった>となみ元気道場の協力のもと実施した「影絵ショー」にも、多くの方に鑑賞いただき大盛況であった。

市民のボランティアに支えられている、みんなで行うイベントとして定着してきており、今後も盛り上げていきたい。

○ 除雪について

一斉除雪は12月から3回出動。各地区の除雪委員会や除雪業者等と連携を図りながら、地域ぐるみによるきめ細やかな除雪作業に取り組み、市民の安全安心な生活の確保に万全を期したい。

市内の降雪予測や降積雪状況、一斉除雪出動の情報提供を市ホームページやTwitterなどを活用して発信している。市内の道路監視カメラを市のホームページからも見られるので、降雪時のお出かけの前等には、ぜひ活用いただきたい。

○ 出産・子育て応援交付金事業について

今月中には該当する令和4年4月から出産された方及び現在妊娠中の方に対し、案内や申請書類などを送付し、2月以降には応援金の支給ができるよう準備を進めている。

また、子育て支援アプリ「となみっ子なび」も、アンケート調査や面談予約などができる機能を追加することとしており、出産・子育て支援体制をさらに拡充していく。

○ 砺波市二十歳の式典について

令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、対象年齢を20歳とした、「砺波市二十歳の式典」を1月8日(日)実施する。「新成人の主張」を家族や友人への「感謝の手紙」に変更する。

○ 春を呼ぶチューリップ展について

チューリップ四季彩館では、1月26日(木)から2月12日(日)まで、2023となみチューリップフェアのプレイベントである、「春を呼ぶチューリップ展」を開催する。

春を呼ぶチューリップ展は、2023となみチューリップフェアのテーマ「チューリップが奏でる色彩のシンフォニー」をイメージした会場装飾に、促成栽培で咲かせたチューリップ1万本とプリムラなど、早春の花々を配置し、ひと足早い春の訪れを体感できるイベントである。

○ 新年度一般会計予算編成について

現在編成を進めており、財政課査定段階で流動的ではあるが、今年度を大幅に上回る積極予算である。これは特定の大規模プロジェクトによるものではなく、複数の要因によるものである。

コロナ禍の影響や18歳までの通院・入院医療費の無料化を含めた扶助費の増加のほか、電気料の高騰や物価高騰による事業費の増大も少なからずあるが、脱炭素やDXの推進、保育所の認定こども園化とそれに伴う施設の統廃合など、社会的要請にこたえる事業、後年度の財政負担や事務の軽減を図るための投資といえるものが多く含まれている。

歳入については、市税、地方交付税とも増額を見込んでおり、これまでの方針どおり交付税措置のない市債の発行を抑え、後年度の負担軽減を図りたい。